



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 フジ日本精糖株式会社

コード番号 2114 URL <http://www.fnsugar.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 船越 義和

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 管理本部本部長

(氏名) 佐塚 真弘

TEL 03-3667-7811

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	4,975	△2.7	180	△31.7	231	△22.8	143	△21.5
26年3月期第1四半期	5,111	0.8	264	△0.2	300	0.2	183	3.8

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 197百万円 (△14.4%) 26年3月期第1四半期 230百万円 (142.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	5.36	—
26年3月期第1四半期	6.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	21,600	14,824	67.1
26年3月期	21,370	14,821	67.6

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 14,482百万円 26年3月期 14,435百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,500	3.2	450	△19.8	520	△16.5	320	△15.4	11.91
通期	21,000	4.2	850	4.9	960	△3.1	600	0.9	22.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	29,748,200 株	26年3月期	29,748,200 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期1Q	2,889,839 株	26年3月期	2,889,839 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	26,858,361 株	26年3月期1Q	26,884,753 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率の引上げに伴う景気反動もみられたものの、政府の経済政策や金融政策の効果により、円安、株高傾向が続き、緩やかな回復基調にて推移いたしました。

この様な環境下、当社グループは、製品の安定供給を最重要課題として取り組みました。特に、タイのイヌリン製造子会社(Fuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd.)においては、安定的な製品供給のため、品質維持向上や現地スタッフの教育育成などに注力いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高4,975百万円(前年同期比2.7%減)、営業利益180百万円(同31.7%減)、経常利益231百万円(同22.8%減)となり、特別損失として投資有価証券評価損12百万円を計上した結果、四半期純利益は143百万円(同21.5%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 精糖

精糖の業績は、売上高3,175百万円(前年同期比4.5%減)、営業利益268百万円(同6.4%減)となりました。売上高は、販売価格は上昇したものの、製品在庫の品薄や採算性重視の営業活動の結果、販売数量が減少したため減収となりました。損益面では、物流費等の販売費は減少したものの、原料仕入コストの増加により減益となりました。

② 機能性素材

機能性素材の業績は、売上高1,650百万円(前年同期比0.8%増)、営業損失40百万円(前年同期営業利益33百万円)となりました。売上高は、機能性食品素材「イヌリン」は低調な荷動きにより販売数量が減少したものの、連結子会社ユニテックフーズ(株)での主力商品コラーゲン等の新規取引先増加や拡販効果により、前年同期比で増収となりました。損益面では、連結子会社Fuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd.において、本格的な生産開始の遅れにより減益となりました。

③ 不動産

不動産の業績は、売上高149百万円(前年同期比0.3%減)、営業利益133百万円(同2.6%増)となりました。不動産事業の稼働率及び維持管理費は、共に前年同期並みに推移し、安定収益に貢献いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1.1%増加し、21,600百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各財政状態の変動状況は、次のとおりであります。

① 資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ0.3%増加し、8,606百万円となりました。これは主に棚卸資産の増加等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ1.6%増加し、12,993百万円となりました。これは主に投資有価証券の増加等によるものであります。

② 負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ3.5%増加し、3,866百万円となりました。これは主に仕入債務の増加及び流動負債「その他」に含まれる未払金の増加等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ3.5%増加し、2,909百万円となりました。これは主に長期借入金の増加及び固定負債「その他」に含まれる繰延税金負債の増加等によるものであります。

③ 純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ0.0%増加し、14,824百万円となりました。これは主に配当金の支払により利益剰余金が減少したものの、その他有価証券評価差額金の増加及び四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年4月30日付け公表の第2四半期連結累計期間業績予想及び通期業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法を割引率の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が73,818千円減少し、利益剰余金が47,538千円増加しております。また、この変更による当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,111,695	1,588,067
受取手形及び売掛金	2,451,842	2,430,486
有価証券	385,719	372,513
商品及び製品	1,279,058	1,467,799
仕掛品	109,595	226,030
原材料及び貯蔵品	1,097,743	1,393,812
その他	1,152,281	1,131,214
貸倒引当金	△3,282	△3,100
流動資産合計	8,584,653	8,606,825
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	679,664	1,020,332
機械装置及び運搬具(純額)	158,279	1,564,570
土地	2,048,834	2,048,834
建設仮勘定	1,658,701	-
その他(純額)	91,041	96,080
有形固定資産合計	4,636,521	4,729,818
無形固定資産		
のれん	685,798	658,801
その他	99,888	95,835
無形固定資産合計	785,686	754,636
投資その他の資産		
投資有価証券	5,153,069	5,303,507
関係会社長期貸付金	1,980,852	1,980,852
その他	293,532	288,639
貸倒引当金	△64,140	△64,151
投資その他の資産合計	7,363,312	7,508,848
固定資産合計	12,785,521	12,993,303
資産合計	21,370,175	21,600,128

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,505,769	1,634,397
短期借入金	1,182,696	1,152,696
未払法人税等	203,136	65,196
賞与引当金	110,896	51,910
役員賞与引当金	9,100	-
その他	725,019	961,800
流動負債合計	3,736,618	3,866,000
固定負債		
長期借入金	1,551,216	1,650,446
役員退職慰労引当金	183,175	184,972
退職給付に係る負債	203,125	106,187
資産除去債務	66,603	66,759
その他	807,716	900,817
固定負債合計	2,811,837	2,909,184
負債合計	6,548,455	6,775,184
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,530,171	2,530,171
利益剰余金	10,016,829	9,966,461
自己株式	△714,805	△714,805
株主資本合計	13,356,655	13,306,287
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,020,619	1,122,292
為替換算調整勘定	77,752	72,509
退職給付に係る調整累計額	△19,219	△18,199
その他の包括利益累計額合計	1,079,152	1,176,602
少数株主持分	385,910	342,053
純資産合計	14,821,719	14,824,943
負債純資産合計	21,370,175	21,600,128

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	5,111,740	4,975,769
売上原価	3,996,804	3,984,747
売上総利益	1,114,935	991,021
販売費及び一般管理費	850,388	810,441
営業利益	264,547	180,579
営業外収益		
受取利息	12,638	10,858
受取配当金	22,565	27,304
持分法による投資利益	6,842	18,169
その他	3,835	11,658
営業外収益合計	45,881	67,991
営業外費用		
支払利息	5,317	8,774
為替差損	1,311	7,336
その他	3,665	818
営業外費用合計	10,294	16,929
経常利益	300,133	231,641
特別利益		
投資有価証券売却益	11,540	-
特別利益合計	11,540	-
特別損失		
固定資産除却損	21	125
投資有価証券評価損	-	12,443
特別損失合計	21	12,569
税金等調整前四半期純利益	311,652	219,072
法人税、住民税及び事業税	89,338	75,086
法人税等調整額	45,333	39,377
法人税等合計	134,672	114,463
少数株主損益調整前四半期純利益	176,979	104,608
少数株主損失(△)	△6,296	△39,209
四半期純利益	183,276	143,818

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	176,979	104,608
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	64,753	101,673
為替換算調整勘定	△11,480	△10,328
退職給付に係る調整額	-	1,020
持分法適用会社に対する持分相当額	237	437
その他の包括利益合計	53,511	92,802
四半期包括利益	230,491	197,410
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	241,953	241,268
少数株主に係る四半期包括利益	△11,462	△43,857

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性素材	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,323,596	1,637,994	150,150	5,111,740	—	5,111,740
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,293	4,084	277	7,654	△7,654	—
計	3,326,889	1,642,078	150,427	5,119,395	△7,654	5,111,740
セグメント利益	287,151	33,367	129,691	450,210	△185,662	264,547

(注) 1 セグメント利益の調整額185,662千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性素材	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,175,347	1,650,710	149,710	4,975,769	—	4,975,769
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	413	413	△413	—
計	3,175,347	1,650,710	150,124	4,976,182	△413	4,975,769
セグメント利益又は損失(△)	268,868	△40,582	133,032	361,319	△180,739	180,579

(注) 1 セグメント利益の調整額180,739千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。